

## 豊橋技術科学大学とコベルコ建機株式会社の連携について

豊橋技術科学大学（学長：大西隆）とコベルコ建機株式会社（社長：榎木一秀）は、両者の知識、経験及び人的資源、物的資源を相互に活用した研究の推進、研究成果の社会活用促進、高度な人材の育成を目的として、豊橋技術科学大学に「コベルコ建機次世代クレーン共同研究講座」を開設致しました。

本共同研究講座においては、自動化、AI、ビッグデータ活用等の時事的な研究に限らず、未来社会にとっての次世代クレーンのあるべき姿を探求していきます。この活動を通じ、社会にとって一層魅力のある大学づくり、企業づくりを行っていくとともに、実践的な教育による高度技術者の育成を図っていきます。なお、豊橋技術科学大学にて、民間企業との共同研究講座を開設するのは初となります。

国立大学法人豊橋技術科学大学－コベルコ建機株式会社  
コベルコ建機次世代クレーン共同研究講座開設式 次第

### 1 日時

平成 31 年 4 月 23 日（火） 10:00～11:00

### 2 登壇者

豊橋技術科学大学

学長 大西 隆（おおにし たかし）

理事・副学長 寺嶋 一彦（てらしま かずひこ）

機械工学系教授 内山 直樹（うちやま なおき）

コベルコ建機株式会社

代表取締役社長 榎木 一秀（ならき かずひで）

取締役常務執行役員 青山 扶（あおやま たすく）

技術開発本部 本部長補佐 丹治 雅人（たんじ まさと）

### 3 場所

豊橋技術科学大学 事務局 3 階大会議室

### 4 式次第

- (1) 開会
- (2) 挨拶
- (3) 記念品授与
- (4) 共同研究講座概要説明
- (5) 質疑応答
- (6) 閉会
- (7) 記念撮影

<本件に関するお問い合わせ>

広報担当： 前田・高柳 TEL：0532-44-6506

産学連携担当：小早川 TEL：0532-44-6983

- 工学系5課程, 5専攻:  
機械/電気・電子情報/情報・知能  
応用化学・生命/建築・都市システム
- 技術を究め, 技術を創る



- 1930年国産大型電気ショベル第1号生産
- 国内4拠点、海外11ヶ国16拠点
- ユーザ現場主義に基づき、創造的な「知と技」によって革新的なソリューションを提供



**目的** 両者の知識, 経験および人的資源を相互に活用し, 連携協力することによって, 両者の更なる発展並びにわが国の学術及び科学技術の振興に資する

### 共同研究講座の設置

- 専任教員の配置が可能
- 研究成果の共有

## 次世代クレーン共同研究講座(2019年4月~5年間)



- クローラクレーン分野で高いシェア
- 建設機械分野での熟練操作者の不足
- 作業環境の改善, 安全性向上

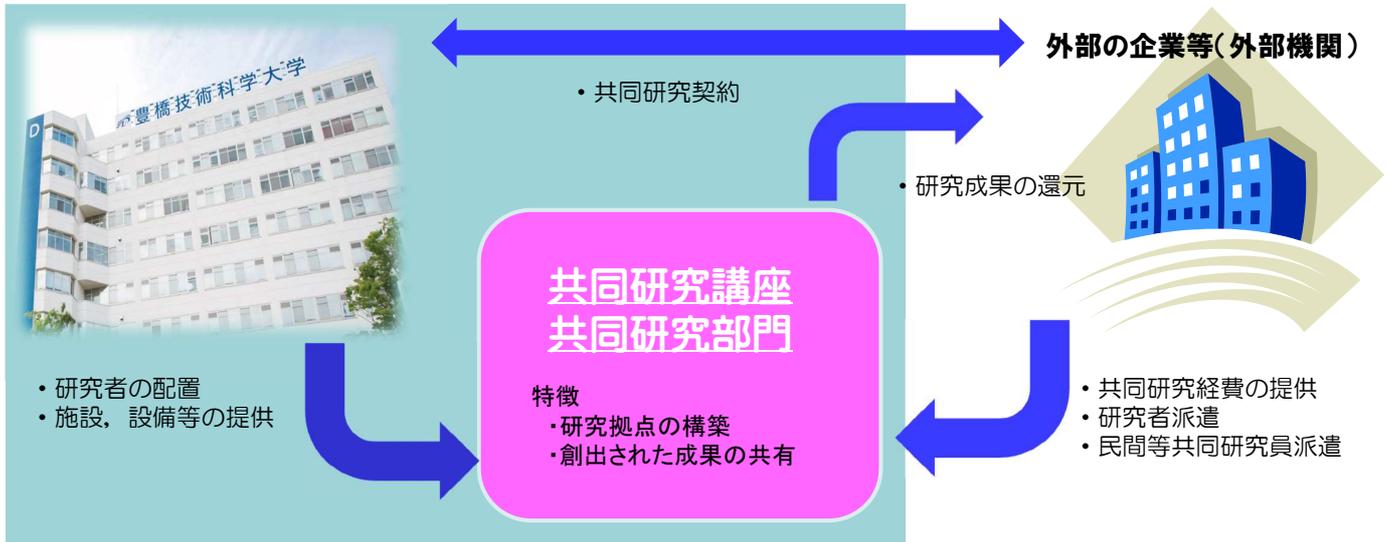


自動運転化を視野に入れた制御技術,  
センシング技術に関する研究

### メンバー

機械工学系: 内山 直樹, 佐野 滋則,  
田崎 良祐(客員准教授),  
寺内 謙一(客員教授), 高橋 秀樹(研究員)  
情報・知能工学系: 三浦 純

# 共同研究講座について



## 共同研究講座の概要

共同研究講座は、本学が共通の課題について本学と共同して研究を実施しようとする外部の機関・企業等(以下「外部機関」という。)から受け入れる経費等により設置し、共同研究の趣旨に基づいて運営することにより、本学の教育研究の進展及び充実を図ることを目的とする制度です。

### 名称

- 共同研究に関連する内容を示す名称を付します。外部機関の申出により、外部機関の名称を付加できます。
- 設置する部局により『共同研究講座』又は『共同研究部門』となります。  
 本学工学部・研究科に設置 → 『○○○共同研究講座』  
 本学研究所・学内共同研究施設等に設置 → 『○○○共同研究部門』

### 設置期間

- 2年～5年(更新可能)

### 既存制度との比較

	共同研究講座	共同研究	寄附講座
講座の設置	○	×	○
契約の締結	○	○	×
研究期間	2～5年	制限なし	2～5年
経費	共同研究費	共同研究費	寄附金
専任教員	○	×	○
成果の帰属	共有	共有	大学

### 構成

- ①教授又は准教授相当者(1名)
- ②准教授又は助教相当者(1名)
- ③研究員等研究スタッフ

※①②について、本学専任教員が兼務可能  
 ※外部機関から派遣される研究者を特定教員等として採用します。(選考は本学の教員選考基準に準ずる。)

### 共同研究経費

- (直接経費)人件費、物品費、旅費等の必要経費
- (産学連携経費)直接経費の30%